

瑞浪駅北地区複合公共施設基本計画【概要版】

1. 事業の背景

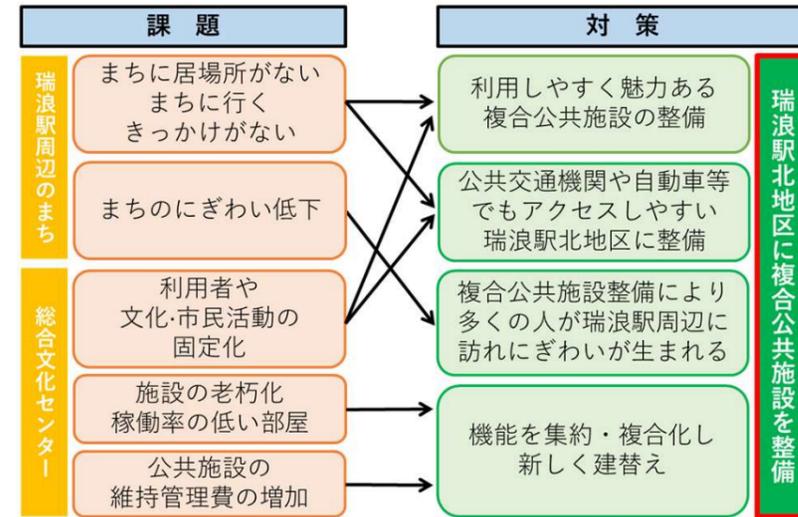
■これまでの経緯

「瑞浪駅周辺まちづくり基本方針」「瑞浪市公共施設等総合管理計画」において、瑞浪駅周辺のまちの課題と、総合文化センターの課題を解決するため、瑞浪駅北地区に、図書館や貸室等の中央公民館機能の一部を集約し、新たな機能を追加した複合公共施設を整備することとしています。

■事業計画地について（瑞浪駅北地区の特徴）

- 公共交通機関にて多くの人にとってアクセスしやすい
- 市営駅北駐車場の拡張と、駅北ロータリーの改良で、車でのアクセスも向上
- 瑞浪駅北口改札の新設を計画中

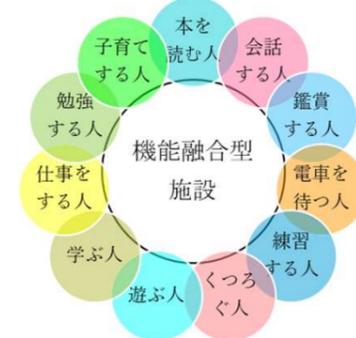
■「瑞浪駅周辺まちづくり基本方針」「瑞浪市公共施設等総合管理計画」における駅北地区複合公共施設整備の考え方イメージ



■機能融合型施設

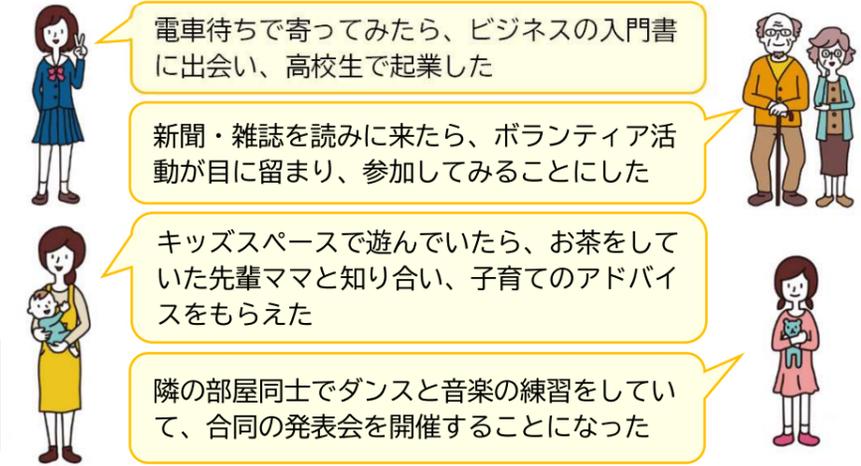
さらに新しい施設を、これらの機能が融合する「機能融合型施設」とすることで、それぞれの利用者が自分の目的に合った利用を行うだけでなく、異なる目的で訪れた人々の間に会いと交流が生まれ、多様な市民活動が育まれます。

■施設利用者のイメージ



【機能融合型施設】
それぞれの利用者が自分の目的に合った利用を行うだけでなく、異なる目的で訪れた人々の間に会いと交流が生まれ、多様な市民活動が育まれる。

■「機能融合型施設」での新たな出会いのイメージ



2. 新しい施設の目指す姿・コンセプト

新しい施設は、市民ニーズの高い機能を取り入れ、まちに人が訪れるきっかけとなるような、利用しやすく魅力ある施設を目指します。また、多くの人が行き交う立地で、気軽に利用できる施設とすることで、生涯学習推進と文化芸術振興も図ります。新しい施設は、これらを実現するため以下の3つの機能を導入します。

(1)資料・情報提供機能

本・雑誌等の資料や情報の提供という図書館としての基本的な機能に加えて、「静かに集中できる場」「ゆったりとくつろげる場」「朗読や会話ができる場」等、多様な読書や学習スタイルが共存できるスペースを整備します。さらに、子どもたちが絵本等を楽しめるキッズスペースや、瑞浪の文化や歴史に触れることができる展示機能も整備します。

■導入機能のイメージ



(2)集会・交流機能

式典はもちろん、各種の講座・イベントの開催や、多様な市民活動の練習・発表ができる機能を提供します。平土間形式にもなる、可変性の高い多目的ホールを中心に、多用途に使えるスペースを提供します。

(3)滞在・サロン機能

特別の目的がなくてもふらっと訪れたいような、居心地が良くくつろぐことのできる施設とします。開放的なオープンスペースや、使いやすいテーブルや椅子、カフェ機能等、多様な人々が自然に訪れて、出会い、会話や余暇を楽しむことができるようになります。

■施設コンセプト

市民だけでなく周辺地域の人々も訪れたい施設を目指し、新しい施設のコンセプトは、「市民や東濃地域のサードプレイス(自宅、学校・職場以外の第3の居心地の良い居場所)」とします。

～ 市民や東濃地域のサードプレイス～

3. 運営方針

■運営方針のポイント（基本的な機能以外のこの施設の特徴）

- ターゲット別サービスの提供(子どもや子育て世代、ティーンズ世代等)
- 現状19万冊よりも絞り込んだ蔵書とし、電子書籍等のデジタルコンテンツも検討
- シティプロモーションやシビックプライドの醸成のための企画を運営
- 滞在・サロン機能の中核としてカフェ機能を整備
- 365日利用可能な施設を目指す(予約資料貸出ロッカー等含む) 等

4. 施設整備方針

■施設整備方針のポイント（基本的な機能以外のこの施設の特徴）

- すっきりとした統一感がある使いやすい書架、心地よく魅力的な読書席を整備
- 市民活動が「見える」「聞こえる」ようなオープンな空間を整備
- 施設全体は会話ができる空間とし、サイレントスペースも確保する
- 300～400人程度が収容できる多目的ホールを整備
- 快適な座席配置や、利用者用のWi-Fi・電源環境を整備 等

5. 整備運営手法及びスケジュール

■整備運営手法

瑞浪駅北地区複合公共施設の整備運営においては、民間企業の創意工夫、利用者ニーズへのスピーディーな対応等による、魅力ある施設運営を目指し、官民連携手法による施設の整備運営を行うこととします。より魅力ある施設とするためには、利用者が快適に利用でき、満足できるサービスを受けることができる必要があります。このことから「運営重視型」の整備運営手法を採用することとします。この手法により、最も魅力ある運営等を行える事業者を選定し、設計の段階から運営を想定した意見を取り入れることで、より良いサービスを提供する上で必要な、設備や機能、デザインを反映した施設整備を行うことが可能となります。

■事業費

駅北複合公共施設 想定事業費 約48.2億円	内訳	調査設計計画費	約3.6億円
		土地整備費	約0.3億円
		用地補償費	約5.5億円
		施設工事業費	約32.8億円
		付帯工事費等	約4.2億円
		開館準備費等	約1.8億円

■スケジュール

令和6～7年度	事業者公募・施設の設計
令和8～9年度	施設整備工事
令和10年度～	施設開業・運営開始

※事業費・スケジュールについては、今後の社会情勢の変化等により変更になる可能性があります。